

【司会】

定刻になりましたので、セミナーを始めさせていただきます。

ただ今より「埼玉県移住セミナー 埼玉高速鉄道沿線で暮らす～浦和美園編～」を開催いたします。

私は本セミナーの事務局担当者の埼玉県交通政策課 前田と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

開会にあたり、2点ほど皆様にご連絡させていただきます。

本セミナーは会場とオンラインの同時開催です。オンライン参加の皆様は Zoom のマイク及びカメラの設定はオフにさせていただいております。

もし、オンライン参加の方で、セミナーの中でご質問をされたい場合には、Zoom のチャット機能を使っていただきますようお願いいたします。講演の最後に、いただいた質問への回答をいたします。

また本セミナーは後日アーカイブ公開を予定しているため、録画を行っております。その点についてもあらかじめご了承くださいますようお願いいたします。

さて、今回の移住セミナーは、都心に近く、自然豊かで、子育て世代が住みやすいエリアである、埼玉高速鉄道沿線地域、特に子育て世代が近年増加傾向にある浦和美園地域に注目し、沿線地域の魅力をたっぷりお伝えしていきたいと思っております。

今回は、浦和美園地域でまちづくりに関わっている方や埼玉高速鉄道の社員の方をゲストにお呼びしております。それぞれの視点から埼玉高速鉄道や沿線地域の魅力を紹介していただきたいと思っております。

続いて、本日のプログラムのご案内をします。

第 1 部は「沿線のまちづくり&活動紹介」です。

一般社団法人美園タウンマネジメント専務理事の岡本さんから、浦和美園駅周辺のまちづくりについて、また移住で気になるあれこれをご紹介します。

次に、浦和美園地域に在住で、地域で様々な活動をされている 3 名の方に、ご自身の活動や体験談、実際に住んでみて感じた地域の魅力などについてお話いただきます。参加者の皆様にとって、とても参考になるお話が聞けると思います。

第 2 部は「埼玉高速鉄道の取組紹介」です。

埼玉高速鉄道株式会社の江原さんから埼玉高速鉄道の特徴や子育てに優しい取組、お得な乗車券や沿線でのイベント情報など、埼玉高速鉄道の魅力をお話いただきます。

最後に、埼玉県交通政策課からのお知らせ、ふるさと回帰支援センターの紹介をいたします。

それでは、最後までどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、早速プログラムに入っていきたいと思います。

最初は、一般社団法人美園タウンマネジメント専務理事岡本さんによる講演です。岡本さん、よろしくお願いいたします。

【美園タウンマネジメント 岡本さん】

ただいまご紹介にあずかりました、美園タウンマネジメントの岡本と申します。

美園の街ってこうですよ、とちゃんと語ると3~4時間かかってしまうので、今日はエッセンスだけ、本日の講演のベースラインとして美園の全体像・概要・フレームをご紹介させていただいて、ディープな話は私の後にお話いただくお三方にご紹介いただくというような形で、まずは先頭を切ってお話をさせていただきます。

駅名で言うと、浦和美園駅、美園という地名もありますが、「美園」というと何を思い浮かべるでしょうか？真っ先に鉄道、資料には入れていませんが、鉄道のことは埼玉高速鉄道さんに話していただくとして、埼玉高速鉄道埼玉スタジアム線という名前にもあるとおり、埼玉スタジアムが有名です。

あとは、駅のそばですと比較的新しい大規模な商業施設が増えています。そのベースにあるのは新しい都市開発が進んでいて、ゆとりある道路空間ですとか、居住環境が新しく作られているという過程にある街、というふうにネット上では出てくると思いますが、右下にある大門宿本陣、なかなか耳慣れないものを載せていますが、古くから街道筋があって、古くからの歴史が積み重なっている部分もございます。

このような文化遺産も残っているなど、複雑な要素が絡み合っている街ではありますが、本日は新しく皆さんが移り住んできているという状況をご紹介させていただければと思います。

改めてなのですが、駅名で言うと浦和美園駅。どこにあるかという、この絵で見てくださいと明らかではありますが、東京都心からだいたい25kmくらいのところにある郊外住宅地。さいたま市の南東部の端っこに位置しています。

これは難しい専門的な図で恐縮ですが、さいたま市の中の都市構造図という将来の計画図ですね。さいたま市は大宮駅周辺ですとか、浦和駅周辺が市の中で都心という位置付けにあって、それに次ぐ副都心というエリアが4つ位置付けられており、そのうちの1つが美園地区です。だいたい大宮とか浦和とか岩槻とか武蔵浦和とか、街が既成市街地化しているところが都

心・副都心に位置付けられているのですけれども、その中でも美園地区はまだまだ発展途上と言ったら語弊があるかもしれませんが、成長過程にあるという街になっています。

さいたま市の作る画からすると、離れ小島のように美園だけぽつんと右下の方にいて、周りは緑で塗られているのですが、実際も美園地区は緑豊かな土地が広がっています。

これは、埼玉県が作った都市計画図をそのまま映しています。埼玉高速鉄道沿線沿いにニョキッと北側に市街化調整区域、専門的な言葉を使ってしまい恐縮ですが、豊かな自然が残されているエリアにニョキッと市街地が南から北に向かって伸びていっている、そんなロケーションにある地区でございます。

浦和美園駅を中心に同心円状に線を描いていますが、浦和駅や大宮駅のようなさいたま市の中でも大きな中心市街地と言われるところよりも、東武線沿線の、最近の言い方言うと、スカイツリーラインの北越谷駅など、隣の市、越谷市や川口市などの駅の方が近いという、さいたま市の中で離れ小島と言いましたが、周りのロケーション的には隣の市の方が近かったりする場所でございます。

この年表については飛ばしますが、ざっくり申し上げますと、今新しい人が多く移り住んでいるという話が、色んな書物や Web サイトに載っていますけれども、その大規模な都市開発が行われ始めたのがだいたい2000年代に入ったくらいから。2001年3月から土地区画整理事業と書かせていただきましたが、駅周辺で大規模な土地区画整理事業が2001年3月から始まっているという状況にあります。

浦和美園駅がオープンしたのも2001年3月。先ほども話にあげましたが、埼玉スタジアムが公園としてオープンしたのが2001年という、だいたい2000年代に入ってからバタバタとできてきている街になっています。

今年の7月の写真ですが、見てのとおり駅の周りは市街地化が進んでおり、埼玉スタジアムの間を見ると駅とスタジアムの間には空き地があるなという様子を見て取れるかと思います。駅の東側は区画整理施行済みと書いていますが、道路を作ったり、宅地を造成したりということが駅の東側は終わっていて、オレンジ色で塗っている駅の西側はまだ道路を作ったり宅地を造成したりというのはまだまだ行われている最中、そういう成長過程にあるところでございます。

大型商業施設ですとか、新しい小学校ですとか、街の発展に応じて宅地造成とか道路が作られた後にできてきているという状況です。

鉄道の乗降客数については、後で埼玉高速鉄道さんに話してもらおうとして、人口のグラフだけ簡単に紹介します。

開発が始まった当時、2001年3月からグラフを載せていますが、最初に開発が始まった時は「みそのウイングシティ」と名前がついている開発エリアにはだいたい 1,400 人がお住いでしたが、今年の1月の時点で 17,000 人。計画人口としては、1ha あたり 100 人の街を新しく作りましょうという形で都市開発が始まっている。

本当の最新の情報で言うと、56~57人くらいになっていますが、都市開発の計画人口からすると半分ちょっと超えたかな、くらいの成長を今しているというところです。

これもなかなか珍しい人口ピラミッドかもしれません。みそのウイングシティ区域というのは旧来の言い方で言うと、厳密には違うのですが、旧美園村と旧新和村というところに開発区域がまたがっているの、この2つの区域の人口構成とその中でみそのウイングシティが占める割合という、なかなかマニアックな画になってしまう。

この画をパッと見て分かると思いますが、若い世代が多いですね。こういう人口ピラミッドは他の地区で描こうとすると、なんとなく高齢化しているという、言葉を選ぶのに苦慮してしまいますが…

さいたま市全体の平均値も載せていますね。折れ線グラフで書いてある方がさいたま市全体の平均値です。さいたま市の人口ピラミッド自体も全国の色んな自治体さんから見ると、若いほうの人口ピラミッドだと思えますが、その中でも突出して浦和美園駅周辺が若い世代が多く移り住んできているという状況にございます。

そこで、色々な取組を進めているのですが、話し始めてしまうと時間オーバーになってしまうので、詳しいお話は Web サイトや本日お配りしている資料などを見ていただければと思います。分からないことがあったら、連絡先なども公表しておりますので、そちらにお問合せいただいても結構です。

「気になるところ」ということですが、移住したいという方々が非常に多くて、建物を建てると結構すぐに埋まってしまうそうです。そのくらい人気があると不動産屋の方から聞いております。

土地の値段で言うと、駅前だと坪 100 万円~100 万円ちょっと超えたくらい。駅からちょっと離れた住宅地に行くと、坪60~70万円に下がっていきます。公示地価はそのくらいの値段になっています。それぞれ土地の条件に応じて値段は変わるのでしょうけれども、そのくらいの値段で賃貸等も貸し借りされていますが、非常に人気だそうで、特に4月や10月など人の出入りが多いシーズンは、1回お試し賃貸住宅に住んで、その後家を建てて移り住みたいという方が結構いらっしゃるそうです。賃貸に住みたくても空いていませんという状況もあるみたいです。

一生懸命、色々な事業者さんが建物を建てており、世間から注目をいただいているありがたいですが、色々な方々と協力しながら引き続き街を盛り上げていきたいなと思っています。

少しだけオーバーしてしまったかもしれませんが、私からの簡単な紹介は以上になります。ご清聴ありがとうございました。

【司会】

岡本さん、ありがとうございました。

次に、ゲストスピーカーによる講演です。1 人目は、農村文化体験施設「丸園」運営 丸志伸さんです。よろしくお願いいたします。

【農村文化体験施設「丸園」運営 丸さん】

皆さん、こんばんは。私は「丸園」を主催しております、丸志伸と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私の今日の話は 15 分くらいなのですけれども、前半は私がやっている事業と何でそのようなことを始めたのかという私自身の自己紹介も含めて経緯のお話をさせていただいて、後半は、私は美園にずっと住んでいますので、私が捉えた美園と特徴や良さをポイントで整理をさせていただいておりますので、紹介をさせていただきます。

最初にご案内申し上げるのが、丸園がどんなことをやっているかということで、簡単に整理をさせていただいております。

元々、私の丸家は、江戸時代の徳川家光の時代から始まりましたので、だいたい 380 年くらい続いている農家です。農家の地所を活用して、農村文化体験事業「丸園」を始めています。

先ほど岡本さんからも紹介がありましたように、私の住んでいるところはだいたい都心から 25km なので、非常に都内から行き来も楽だということもありますし、私の事業所の近くには 100 年以上前から植栽されている茶ノ木とか、竹林や栗の林とかがいくつかありまして、農村の原風景を感じるところが私の地所であると思っています。

農村文化体験は実際何やっているの、というところなのですが、主に4つのことを展開させていただいています。実際に始まったのは 2020 年からで段階的に着手しているのですけれども、1 つ目は①かじゅある盆栽の制作・販売をさせていただいております。元々、美園地域は植木産業が地場産業なのですけれども、近年市場の縮小で非常に厳しい状況に直面しています。私のところもかつて植木の生産をやっていた時代もあったのですが、改めて新しい植木業の方向性を見出すことができないだろうかということで、2020 年から小さい盆栽の販売をさせていただいています。ちなみに、明日もこのビルの交通会館の1階でマルシェで出店をさせていただきます。

2つ目の事業が、②の体験サービスの提供ですね。まずは純粹に盆栽を私のところで作っていますので、気軽に作れる体験をお客様に提供させていただいているということが1つ目です。

2つ目は右側の釜炒り茶体験をさせていただいている写真になります。これは私の家にある茶ノ木を自分で手摘みをして、茶葉を採って4時間後にはしっかりとしたお茶を飲む、そんな体験もさせていただいています。

3つ目が、無農薬野菜の生産販売ですね。私の妻がほぼ一人で切り盛りしているのですけれども、自分のところの農場で作りました野菜を定期販売しているのは渋谷区の代官山で、あとは栗を販売している写真もありますが、これは東川口の駅で埼玉高速鉄道さんの改札前で販売させていただくとか、そのようなことをしております。

④は、私の持っている一棟木造住宅があるのですが、そこを改装して会議をしたり食事をしたり、そのようなことができるスペースとして提供させていただいております。

具体的には農村体験文化のサービスはこのようなことをしております。

今度は、私自身のことについて簡単に紹介させていただきます。

私自身は学校を出たとき、就職活動を始めたときには、地元でも農業離れが加速しておりまして、同級生でも親は農家だけれども自分は都内でビジネスマンやるよ、という人が結構多くなってきていたのですよね。私もそのムーブメントに乗っかっちゃっていたわけなのですけれども、都内でキャリアアップしたいなど、コンサルタント業務に就いたんですよね。都内でずっとコンサルタント業をしながら生活をしていまして、住んでいたのは実家なのですが、ずっとコンサルタント業をやりながらも、2013年に父親が他界して、2019年には母親が他界して、いよいよ私自身が丸家の地所をどう活用したらいいのかということを考えることを行動に移さないといけないときに直面しまして、2020年から盆栽の販売を始め、丸園事業を段階的に着手した、そのような経緯でございます。

今見ていただいている資料の下半分の矢印の図が何を示しているかということ、段階的に丸園のサービスを展開始めているのですが、どんな腹づもり、基本的な考え方に基づいてやっているかということを中心に整理しています。

まず、「地元らしさ」って何だろうかといったところで、一旦自分なりに整理をして改めて飲み込んで、その地元らしさが将来どうなっていたらいいのかということを描いて、その接点を今新しくサービスとして提供していこう、こんなことを考えているということを腹づもりとして説明させていただいております。

あとは、その腹づもりをもとにして、どんなふうに私自身が願いを持って事業を展開しているか、その意図について簡単に紹介させていただきます。

左側が、私が捉える地元の美園で起きていることや危機感を自分なりに整理をしたものです。

それに対して、残していきたいことってどんなことかなと整理したのがこのチャートです。

まず危機感として、野田村、大門村が美園になったわけですけども、非常に長い時間をかけて地元で継承されてきた地域の景観や、景観だけでなく文化そのもの、生活の文化自体が今非常に危機的な状況で薄まりつつあるというのが現状です。特に景観が失われていくことから考えていくと、そこで取り組む地元の活動も非常に薄れていってしまって、結果的に今のまま放置しておく、地元らしさがなくなり、無味乾燥とした地域になってしまうのではないかと懸念しています。決して私は都市化に対して反対しているわけではないのですが、共存していく必要があるなど考えています。

そんな中で、残していきたいことは、地元で継承されてきた農村としてのコミュニティや、コミュニティもいいところや悪いところがあるのですが、それを部分的に今日に切り出して、それをサービスとして展開することによって、いろんな方に「農村文化っていいよね、残していこうじゃないか」と、そういう機運を作っていけたらよいと、今の事業を展開させていただいております。

今まで紹介させていただいたのが、私の事業に対する考え方とかやっていることでした。

次は、私が捉える地元にずっと住んでいて、美園はこんな地域ですよ、いいところですよというのを3つのポイントで整理させていただいております。

簡単に申し上げますと、浦和美園駅近くには、自然環境に恵まれて、交通移動も便利で、この地域はどんなところだろうか？という知的好奇心を高めていくことのできるエリアだなど考えています。これを3つの要素に分解してみました。

まず特徴の1個目は、「残されている農村原風景」ということで、切り口が一つあるなと思っています。私は380年の家ですということを申し上げたのですが、ほぼ同じくらいの農家というのはたくさん存在していますね。そういった農村の原風景、うちの家もそうですし、地域としても緑が現在かろうじて保全されている場所が多いので、農村の原風景があります。

農村の原風景があるということだと、どういうことがいいのかというと、例えばビジネスマンで住んでいる方が忙しくても、今日はリラックスしたいなと、自転車で美園駅から離れると非常に緑豊かな場所があるということもありますし、お子さまも受験勉強以外にも自然環境への勉強ですとか、食育とか、そういうことを学習する対象物もたくさんあります。

あとは将来農業に関わっていきたいなと考えておられる方も、農業に関する情報がたくさん入ってきやすい場所だということが特徴の一つとして考えられます。

特徴の2つ目が、「交通移動の便利さ」ということで、いくつかポイントを書いたのですが、一言で私自身の経験談から言うと、浦和美園駅から座って都心までいけるということ、これが非常にいいことだったなと私自身は思っています。これは私の事業を立ち上げることの鍵になっ

ていたことです。

あと3つ目が、「そこそこ面白い歴史話題」ということで、これはこの後も紹介させていただきませんが、歴史のことを勉強しようとして、大きなお城があったとかそういうことでもないし、何か戦場があったとかそういうことではないのですが、マニアックな視点を持ってしてみると、色々な興味深いところがありますねと、こんなことも特徴の1つと言えるかなと思います。

その特徴を具体的に見ていきたいと思うのですが、まずは「残されている農村原風景」です。上側に映っている写真は1250ha のかなり広い「見沼田んぼ」がありまして、この見沼田んぼとその先に見えているさいたま新都心のビル街。この写真の構図の中で融合されているという、この辺りを象徴する写真で、色んな所で使われています。

それから、見沼田んぼの近くには全長20kmの桜並木もありますので、季節の良い時期には自転車でぐるっと回ることもできる良い場所です。

左下の写真は釜炒り茶の写真です。手前味噌で恐縮なのですが、元々さいたま市はお茶の生産地でした。自宅にも残っている茶葉を手摘みして炒っている、農村文化体験の写真です。

右は他団体の写真ですけども、田植えや稲の収穫体験を展開している農業団体さんも多くありますので、農業の勉強をするには、お子さんにとっても、大人にとっても非常に良い場所ですね。そんなことを言いたかったです。

2番目の特徴の「交通移動の便利さ」ですね。これは先ほど座っていけることが実は自分にとっては大事だったと申し上げましたが、これは経験談なのですが、私はずっとコンサルタント業を都内でやっていて、しかしながらこの農村文化体験事業を始めたいと思ったのは2016年くらいからなんです。

2018年には左側の写真でテントの下で作業をしている写真があります。これは何をしているかという、地元の植木の生産者さんが植木の苗を大量生産するときの作業を障害者の皆様と一緒にできないだろうかということで、取り組んでいるときの写真。今振り返ると結構大変だったなと思っていて、時間がかかったり、団体と調整したりとか。それで、結局コンサルタント業務もやっていたので、時間が足りなくなってしまうと、結局時間を捻出するためには睡眠時間を削るという手段しかなかったので、毎日ほとんど睡眠が3時間などの日が続いていました。とはいうものの、その日に活動した午後には都内で商談が結構あるので、どこで体力を回復するのかということで、埼玉高速鉄道さんに乗らせていただいて、数十分なのですが、しっかりと熟睡することができたので、事業も進めることができた、そんな経緯です。実は始発ということが私にとっては非常にありがたかったということでした。

あと、特徴の3つ目の歴史話題についてですが、左側の薄緑色のキャプチャーは何かと言う

と、無料配布されている散策マップなんです。こういった無料の散策マップがいろんなところで配布されています。これは大崎というところで配られているマップの裏表なのですが、マップの一例です。これだけ狭い地域で見ても、色んなものがずらずらと出てくるんですね。こういったマップを手掛かりにしながら私も長男が小学生の頃には一緒に自転車で回って楽しかったという記憶もあります。

右側に船に人が乗っている船長さんの写真がありますが、例えばどんな歴史話題があるかといったことなのですが、通船堀という国の指定史跡になっているもので、江戸時代にできた運河なのですが、運河の技術的レベルが非常に高かったので、指定史跡になりました。その再現イベントを行っているのがこの写真です。毎年夏にやっていて、1回で 2,000 人くらいの方が来る大きなイベントになっています。

右下は何かと言うと、900 年くらい続いている獅子舞で、さいたま市の民族指定文化財にもなっているイベントなどもあります。あとは、左のキャプチャーにあるような本当に細かい史跡などもあるので、お子さまと巡るのも非常に面白いかなと思います。

最後のページなので、全体のまとめなのですが、これから皆様が浦和美園近辺に住むのもいいかな、住む対象として考えるときに、だいたい 3 つの要素と関連付けて考えていただけたらありがたいということで、繰り返しになりますが整理いたします。

農村の原風景がまだまだいっぱいあります。浦和美園駅から 2km 離れると農村地帯が広がっています。あとは、交通移動の便利さですね。こういうこともあります。あと、そこそこ面白い歴史話題。家族で歴史の話題を話すのも楽しいです。

そのため、これから浦和美園に住んでもいいかなと思われる方は、この要素のうち 1 つだけではなくて、2 つくらいを絡めてですね、この地域がいいのではないかなということでご検討いただいてもいいのかなと思います。

私自身は今申し上げたこの 3 つを同時に実現できる仕事がないだろうかということで、農村文化体験事業として仕事をさせていただいております。ここに書いている要素以外にも子育ての話題なんかもあるんじゃないのという方もいらっしゃるかもしれませんが、私はこの 3 つに着目して今日は紹介をさせていただきました。

以上でございます。ありがとうございます。

【司会】

丸さん、ありがとうございました。

都心に近い浦和美園で農を身近なものに感じられる事業はとても興味深いものだと思います。また、ご自身の事業を実現できたのは「移動」が便利な浦和美園に住むことが 1 つの要因であったというお話もありました。都心へのアクセスの良さをより魅力的に感じていただけたのではないのでしょうか？

続いて2人目は、美園シェアコンシェルジュチーム 小林絵梨子さんです。小林さん、よろしくお願いたします。

【美園シェアコンシェルジュチーム 小林さん】

こんばんは。小林絵梨子と申します。

今日は、娘の幼稚園が終わってすぐに、綾瀬川でのんびりしているシラサギを横目に埼玉高速鉄道に乗ってここまでやってきました。

(音声トラブルにより無音となっております)

ピンとくる物件との出会いもなかったので、埼玉に目を向けました。このキジ、街の中に普通にいますよ。ハウスメーカーさんに照会してもらったのが浦和美園の家で、キジが街中にいたり、綾瀬川にシラサギがいたりするのを見て衝撃を受け、自然の豊かさに魅力を感じました。

当時、地盤整備が終わって開発が始まったところで、家の建設があちこちでされていました。分譲地でモデルハウスの雰囲気も良く、夫の当時の勤務地である目黒区にも埼玉高速鉄道、南北線、東急目黒線と直通で通いやすく、始発駅なのが好印象でした。

また、美園が誇るイオンモールを始め、お店もいろいろあり、買い物や娯楽にも便利ですし、駅前のコミュニティセンター内には区役所の支所やキッズスペース、貸し出し可能な施設が様々あり、充実していたのもポイントでした。まだ新しい街なので、コミュニティがこれからできていくという部分も決め手となりました。

実際に住んでみて、ご近所さんも同じくらいの子育て世代が多く、埼玉の方ばかりではなく、日本各地から移住してきています。私の周りにはのびのび子育てしたい、今を大切に暮らしたいと思う人が多く、考えが似ているので、つながりを持ちやすい印象です。休みの日、また平日でも子供と遊んだり、習い事の送迎をしたりするパパさんの姿がよく見られます。

美園エリアは子供が多い分、小学校のクラス数も多いですが、設備を整えたり近隣の学校との人数調整をしたりなど、環境整備に努めてくださっています。

計画的に作られている街なので、いたるところに大小様々な公園があり、日によって、気分によって、友達によって遊ぶ場所を選べるのが嬉しいです。休みの日は、埼玉高速鉄道、東武スカイツリーライン、東北道、首都高、4号線、122号線と、電車や車で都内にも出やすいです。

今、娘は幼稚園に通っているのですが、先日は園バスに乗って、近くの見沼田んぼにある畑

でお芋掘りをしてきました。自然の中で思いっきり土に触れ、地元の人に触れ、広い空の下で友達とさつまいもを掘る体験は楽しかったようで、帰ってきてからいろいろ話して聞かせてくれました。すぐにふかして食べた採れたてのお芋は娘にとって最高のごちそうで、たくさんほおばり、家族にも分けてくれました。身近でこのような体験ができるのはありがたいことです。

浦和美園にいくつかある幼稚園、保育園はそれぞれにカラーがあるので、親子で園生活が楽しめるところを見つけてほしいです。我が子は絵本の読み聞かせ、自然の中での保育を大切にしたい園です。制服や園バスもかわいく、先生方も優しいので、園生活を楽しんでいます。大きい方の娘が着ているのが制服ですね。これは園庭の写真になっています。

ここで、私が活動している美園シェアコンシェルジュチームについてお話します。ちょっと失礼します。このオレンジ T シャツが、私たちの勝負服となっています。シェアコンシェルジュというのは、株式会社 AsMama のオンライン研修で学び、地域の子育てファミリーのための託児やイベント企画などを積極的にするメンバーです。社員という訳ではなく、横浜を拠点として、全国にいる社員のサポートを受けて活動しています。

株式会社 AsMama では子育てシェアという無料アプリを活用して、託児、もの、予定のシェアを気軽にできるようなシステムを提供しています。誰でも登録も利用もでき、日本全国で普及しています。

美園では個人的な託児やアプリ内のコミュニティ掲示板における情報提供のほかに、イベントも継続して開催されています。浦和美園4丁目公園の芝生をお借りしての段ボール遊び、水遊び、子供フリーマーケット、キャンプごっこ、青空音楽会など開催しています。

また、幼稚園プレ体験では、子供達をお預かりすることによって、それまでずっと一緒だったママと離れたり、同年代の友達と遊んだりする経験を提供しています。同時に、ママが自分の時間を過ごせる機会にもなるので好評です。

私は初め、利用者だったのですが、スタッフ入りしている方々が時にはご自身のお子さんも一緒に連れてきつつ、子供達を温かく見守り、親の大変さに共感し、励ましてくれる姿に感銘を受けました。サポートを必要としているところにピンポイントで供給できること、自分の子供も含め、子供達の成長をみんなで一緒に喜べること、スタッフ自身がやりがいや楽しみを感じていることが素敵だなと思い、仲間入りしました。さらに、活動を続けることによって、美園の様々な人や団体さんとのつながりもできたので、活動がより楽しくなってきました。

私の感覚では、この街では自分が持っている力や専門的な知識、今までの経験をうまく生かして、仕事やボランティアなどの活動をしている人がたくさんいると思います。また、自分が好きなことをして、周りの人と楽しさや嬉しさなどの気持ちをシェアしている光景もよく見ます。

例えばコミュニティセンターでは、いくつものサークルや講座、教室などが活発に活動していますし、イベントではハンドメイド作家さんがよく出店しています。街のお店の店員さんも子連れで買い物をしていると、お手伝いしてくださったり、優しい言葉をかけてくださったりします。何度、疲労困憊の時、名も知らない方に心が癒され、励まされたことか、数え切れません。自分の心に余裕がないと人に優しくできないと思うので、私もそういう人になりたいなと思える人が浦和美園にはいます。

物も情報もあふれている現在、自分に必要なものを見極めて取捨選択することが重要だと思います。その点、浦和美園の街は、いい意味で空白があるような気がします。それは厳選されて物が備えられていて、余分なものがないという点と、これから変化していくという伸びしろがあるという点です。街と一緒に成長していけるというのは、期待と親しみを感ずみます。

雑誌に載っているような素敵な暮らしは、特に子供が小さいうちや介護や看病があると難しいです。ただ生活するだけでも大変です。でも、理想を考えるとわくわくしますし、日々の小さな幸せや喜びに気付くと、心身が癒されます。今の自分が理想とする暮らしに近づいていける環境が、浦和美園の街にはあると思います。

私はコロナ禍の妊娠、出産、育児で、我が子たちを守ろうと思うあまり、家にいる時間が長くなり、社会からの疎外感をとても感じました。周りの人と子供達は前に進んでいるのに、自分だけ後退しているような気がしました。そのような中でも周りの人たちや家族の励ましやサポートとともに、葛藤の中頑張っているママ友さんやパパさんたちの存在に支えられて、自分にできることをやろうと、その時その時の理想をもって生活してきた結果、最近になっていろいろなことが軌道に乗ったり、形になったり、面白くなってきました。

今後色々なイベントもあります。例えば、幼稚園プレ体験。先ほども言ったように、たくさん需要があるのですが、これはキャンセル待ちも出てきています。あとは、美園が誇る浦和美園まつりにも、私たちは家族でハロウィングームで出店します。今回3回目になる青空音楽会も、4丁目公園にて開催が決まりました。楽しいイベントがたくさんあるので、ぜひ浦和美園に遊びに来てください。

明日からも笑顔あふれる毎日になりますように。

ご清聴ありがとうございました。

【司会】

小林さん、ありがとうございました。

お話や動画から、浦和美園での生活をお子さんと一緒に楽しく過ごされている様子がうかがえましたね。子育て関係の取組をされているとのことでしたが、小林さんのように子育てにつ

いて気軽に相談ができる方が身近にいらっしやると、とても安心できると思います。

最後は、おうち Cafe3Cの嘉数史帆さんです。嘉数さん、よろしくお願いいたします。

【おうち Cafe3C嘉数さん】

おうち Cafe3Cの嘉数史帆と申します。

本日はお忙しい中、足を運んでくださった皆様、オンライン視聴で時間を作ってくださいている皆様、こうしてお話する機会を作ってくださいた関係者の皆様、本当にありがとうございます。よろしくお願いいたします。

私は埼玉県で生まれ、埼玉県で育ち、この地区で住み始めてから 20 年くらいこの地区に住んでいるのですが、美園地区へ来る前も川口市で過ごしていたので、生まれてから埼玉県を出たことがないんですね。小さいころからの思い出も、遊びほうけている反抗期の学生時代や、家族で様々なところへお出掛けした時もいつも戻ってくる場所はここでした。そして、自分自身の子育ても、今この街でたくさんの思い出とともに過ごしています。

今、私自身が大好きな「おうち Cafe3C」という場所で、好きなこと、やりたいことを形にさせてもらっています。「おうち Cafe3C」という空間を通して、この地区の皆様、そして美園地区だけでなく、各方面から足を運び、街に訪れてくださること、本当に感謝しております。たくさんの素敵な人たちと出会う機会をいただいています、わくわくするような経験をたくさんさせてもらい、本当に幸せだなと感じています。

私は今、今年受験生の中学 3 年生の 15 歳の息子と、1 歳 9 か月の息子、2 人の男の子のママをしています。子供達 2 人にはいつまでもママのきらきらした姿を見せたい、口で伝えるだけでなく、好きなことをしてやりたいことを形にしてチャレンジして、夢を描けば何でも叶うと、私自身が証明していきたいなど、そんな背中を見せ続けてあげられるママでいられたらいいなと思いながら、子育てをしています。「ママだから」を理由にするのではなく、「ママだからこそ」を教えてあげられる、1 人の女性としてもたくさんの方に支えていただきながら、感謝を忘れずに、叶え続けられることを証明できたらいいなと思っています。子供達の選択肢の生き方を広げて、たくさんの学びとともに、私自身の人生をこんなに楽しんでいいんだよと伝え続けてあげられたらいいなと思っています。

私の Instagram を見てくださっている方は、度々登場する私の投稿文で、長文になってしまっていると思うので、あまり自己紹介が長くなってしまおうとこのまま時間が終わってしまいますので、次はカフェの紹介をさせていただきたいと思います。

カフェをオープンするという事は、小さいころから絶対に叶えたい夢という訳ではありませんでした。小さいころから人が集まってくれる家だったし、家族で集まる時間を今でもすごく大切にしています。小さいころからキャンプ、スキー、旅行など、たくさんのところへ両親は連れて行ってきて、たくさんの経験をさせてくれました。大人になっても、当たり前のようにたくさんの人に囲まれて、恵まれた環境で私は過ごしてきました。

今の時代、オンライン化が進み、本当に便利で私自身も活用させていただいていますが、その中でも私が大切にしたいことは「リアル」です。0.1秒の時差もなく目を見て話すこと、目を見て笑いあうこと、同じ空間を感じながら過ごすこと。どうしてもそれは画面の中とは違って、家族と目を見て話す時間、友人と笑いあう時間、一人で過ごすほんのひととき。これらがコロナ禍を機に当たり前ではなくなってしまうつつある世の中だからこそ、忘れたくない。大人になり、接客業の楽しさを知り、人と人とのつながりの温かさに触れて、改めて私は人が好きなのだなと感じました。そして同じように育ててくれた両親も、人と人とのつながりを大事にしている両親で、そんな2人のもとで育ててくれたことを本当に幸せに思っています。

そんな私たちはいつからか、何の話し合いもなく、何の決意もなく、自然に、でも明確に、「いつかこんなカフェができたらいいね」と、そんなふうに思うようになりました。何の根拠もなかったのですが、いつか絶対に叶えたいねという夢になったんです。

コロナ禍の父の退職を機に、こんな時代だからこそやりたいことをやっちゃおう、ということで、半ば強引な母と私に乗せられて、あれよあれよと、夢を叶えちゃおうということで、2020年2月に自宅のリフォームが始まりました。飲食店経営の右も左も分からないところか、リフォームの時からみんなで意見を出し合って、迷い模索しながらもたくさんの方に支えられて2021年1月に自宅のリフォームが完了し、家族で念願だったカフェをオープンしました。

「心と体にほんの少しのご褒美を」心と体に寄り添えるような優しいお食事、素敵なひとときを過ごせる空間を私たちは目指し続けています。

店名の由来を紹介させていただきます。

よく「お店の名前はなんて読むのですか？」と聞いてくださる方が多く、「スリーシー？サンシー？」と聞かれるのですが、「おうちカフェサンシー」と言います。お店の名前を決めるのがとても難しく、長男にアンケートをとり、響きや名前の意味だけでなく、理念や思いを乗せた大切な名前にしたいね、ということで3人で意見を出し合い、最終的に名前を決めてくれたのは父でした。

お店の名前になっている「3C」の由来は、私たちがカフェで目標とし続けることです。「Comfortable space～ここの良い空間～」、「Community space～人とのつながり、自分と向き合える空間～」、「Challenging space～挑戦できる空間～」。この3つの頭

文字の C を集めて「3C」です。この名前を聞いたとき、すごく素敵！と我が父ながら感心したのですが、その時の感動よりもこの名前がすごく好きになったのは、足を運んでくださるお客様皆様が作り上げてくれた、おうち Cafe3C という場所だったからで、その時よりも今はとてもこの名前が気に入っています。

そして、こうしてセミナーで話させていただくにあたり、資料を作りながら、私たち家族は常にチームでやってきたということを再確認させていただきました。口に出して思いを伝えあったり、ぶつかったり、共感したり、私たちだけが出せる答えを出していきました。これからもそんなふうに、唯一無二の場所として、私たちだけが出来る、私たちだけが伝え続けられる、私たちだけが作り上げられる空間にしていけたらいいなと思っています。そして、足を運んでくださる皆様と一緒に作り上げる、「おうち Cafe3C」であり続けたいです。

私たちが大切にしていることが、丁寧、手作り、体に寄り添った優しいお食事、体に取り入れる食材・調味料選びです。心を込めてお作りするという部分をとても大切にしています。ちょっと疲れたときに、ほっと一息つけるような、大切な人と過ごす時間がおうち Cafe3C で良かったと思ってもらえるような、これを食べたら笑顔になれました、元気になれました、素敵な時間を過ごす空間のお手伝いをさせていただけたらなと思います。

家族でカフェを始めるとき、どんなことがあっても、たとえお客様が来なくても、私たちがこんなカフェでありたいねという大切にしたい部分はなくさないでいようねと、そう約束して続けてきました。この先もその気持ちは変わらず、4 か月に 1 度変わるランチプレートを考えるときも、家族 3 人チームとなり決めていきます。幾度となく母と相談をし、試作を重ね、形となり、お客様にご提供させていただいております。体じゃなくて心も満たされるような、そんなふうに思ってもらえるようなものをご提供させていただけたらなと思っています。

最後は、ほぼ料理もしない父が、なぜか的確なアドバイスをしてくださり、その父の OK が出たらランチプレートが完成し、お客様にご提供させていただいております。そんな父の入れてくれるハンドドリップコーヒーは、家族だからなどではなく、本当においしいです。営業日ではない休みの日も、どんな時も、習い始めたときから入れなかった日は一度もありません。「本当においしい！」と言ってくださる方が多く、「父のコーヒーが一番好き」「父の入れるコーヒーで、コーヒーが飲めるようになりました」そんなふうに言ってくださる皆様のおかげで、父は本当に毎日楽しそうにコーヒーを入れていきます。

メニューの一部ではありますが、ご紹介させていただきます。

右下のメディカルハーブを扱っている友人とコラボしたハーブスムージーは、弟夫婦が福島で経営している酒蔵からいただいた酒粕で作る甘酒入りで、まさに体が満たされる喜ぶ 1 杯

となっています。お客様からもとても人気です。

母の作るチーズケーキはカフェに来るお客様からすごく人気で、私自身も母が作ってくれるチーズケーキが1番大好きです。

他にもオートミールの生地で作るピザや米粉のワッフルなど、体が喜び、心も満たされるを大切に、メニューを決めております。

最近スイーツデーというものをスタートさせまして、月に1度、友人が作ってくれるスイーツと私たちが作るスイーツをコラボする、この時にしか食べられない特別なプレートなどが食べられるイベントを開催しております。

また、日曜日は8時半より、パンの日営業をしております。皆様のおかげで、現在ベーグルは予約販売となっております。このセミナーでお話させていただく前に、少しでも私自身が痩せたいということがきっかけで、ファスティングにチャレンジしたのですが、心と体は繋がっている、体にいいものでも心が満たされなければ満足できないし、心は満たされていても体を害するものばかりだと心が壊れてしまう。体が喜び、心が満たされることで、気持ちも前向きになるんです。それだけにフォーカスして始めた自分だったのですが、終わるころにはすごく幸せな気持ちになり、もっとたくさんの方に私たちのカフェを通じて、心と体の栄養について伝えていきたい、そんな場所でありたいと、今まで以上に身をもって体感させていただきました。

健康の大切さを改めて感じ、伝えることで、健康を守るのは自分の体でなく、たくさん大切な人を守ることに繋がるんだということ、健康な体を手に入れて好きなことをし続けることは、単純だけど一番幸せなことだと思っています。

そんな中で、好きなものを食べながら、それでも意識することが大切なんだと、そしてそんなきっかけをおうち Cafe3C からお届けしていきたいです。そのためにも、自分自身がまたおうち Cafe3C という場所で新たなチャレンジをするために、ステップアップとして学びを始めているところです。

こんなふうな気持ちにさせてくれたのも、カフェを訪れてくださる皆様が、私たちのコンセプトにある「Challenging」をおうち Cafe3C で叶えさせてくださるからであり、私にとっての最強のチーム家族が味方でいてくれるからこそ、私自身も人と人とのつながりを大切にし、感謝し、この場所を守りながら、より一層皆様にたくさんのお伝えし続けられるように、チャレンジを追いかけ続けられているのだなと感じております。

そんな最強のチーム家族で、皆様をこれからも応援し続けさせていただきます。

次に、イベントについて。美園地区の皆様がおうち Cafe3C でやってくださるイベントについて紹介させていただきたいと思います。

今日も実は、写真にはないのですが、ハロウィンデコドーナツとバルーンづくりというイベン

トと、先ほどお話をさせていただいた「スイーツプレートデー」というイベントを終えて、ここに来させていただきました。本当にたくさんの方からお力添えいただき、毎月様々なワークショップイベントを開催させていただいております。素敵なたくさんの御縁をいただき、私自身が毎回イベントの開催を楽しみにしているのですが、週に1度くらいのペースで様々なイベントを開催させていただいておりますので、ピンとくるイベントがあれば、ぜひ遊びに来ていただけたらと思います。

おうち Cafe3C は、夢を叶えられる場所、やりたいこと、好きなことを形にできる場所、誰にだって何にだって願えばなれる、それを皆様自身が証明くださっています。そして私自身も証明し続けられる人でいたいと、そのきっかけを作る人や場所にこの美園地区というところで、おうち Cafe3C を通じて届けられたらいいなと思っております。一緒に何度も打合せを重ねてイベントをしていく方たちの皆様は、思い、感謝、エネルギーが強くて、学ばせていただくことばかりで、そんな皆様とのかけがえのない思い出がたくさんあります。本当に一部なのですが、少しずつ紹介させていただけたらと思います。詳細は、イベントの開催報告もさせていただいておりますので、Instagram をチェックしていただけたらと思います。

こちらの写真の、定期開催している大人気のバースデーイベントは、毎回キャンセル待ちが出るほどで、ママと未就学児さん向けのイベントで、アイシングクッキーをママがお子さまのために作り、そのプレートと一緒にバースデーフォトブースで撮影をしていただくものです。アイシングクッキーをママが作っている間は、見守りの方がお子さまを見てくださっているので、安心して集中して取り組むことができます。その後、ママたちと開催メンバー皆さんでのランチ交流会は、本当に笑顔が絶えず、楽しそうに話している声が店内に響いています。

次の写真の、定期開催イベント 2 つ目は、「なないろプチマルシェ」というイベントです。イベントスタートの時から定期開催してくださっていて、12 月 23 日で 4 回目を迎えます。おうち Cafe3C でイベントをしたい、という願いを叶えてくださった方々で、毎回大人気でたくさんの方が足を運んでくださり、おうち Cafe3C を知ってくださっている方で、このマルシェを知らない方はいないのではないかと思います。すごく人気のマルシェになっています。

米粉で作るアイシングクッキー屋さんや編み物屋さん、本真珠のアクセサリー屋さんやウォールペイント作家さん、カメラマンさん、皆様のお力添えをいただき、多方面で活躍されている方々と一緒にマルシェを作っています。お時間のある方は是非 12 月に遊びに来てみてください。

定期開催してくださっている撮影会では、ハロウィン、クリスマスや桜シーズンなど、素敵なブースをその日のためだけに店内に作ってくださって、今しかない瞬間を一生の思い出として残してください。ヘアメイクアーティストをしている友人とのコラボでは、女の子たちが本

当にかわいく変身して、ちょっぴりお姉さんになった子たちがウキウキしている姿は本当に幸せな気持ちになりました。大人になってもこうして友人と一緒に仕事ができている環境、場所にすごく感謝しています。

シンガーソングライターの工藤慎太郎さんのコンサートや、先日開催したコンサートの前に行う「音楽の日」と称した、音楽好きが集まり楽しむという新しい試みをスタートしたり、おうちCafe3Cに飾らせていただいているお花をいつも届けてくださる akalaflower さんのミモザリースのワークショップや、人の心に寄り添うスペシャリストの方のカードリーディング、筆文字作家さんが自分にだけ送られたメッセージをカードに書き下ろしてくれるイベントなど、私たちには想像もできなかった「こんなこともできるの？」をたくさんたくさん体験させていただいています。好きなことをしている皆さまは本当に輝いていて、それも同じ空間で感じてほしい魅力の一つかなと思っています。

お子様向けのイベントもたくさんありますし、ママ向けにチャーム作り、多肉植物、万華鏡、アロマサシェ、練り切りアート、マシュマロペーストカップケーキなど、同じコースの方に習っているのに、各々が作り出すものが皆違って、出来上がりをいつもわくわくしながら、拝見させていただいております。

それ以外にも、環境や体のことを考えて、子供達に伝えていくエコラップ作り、米粉クッキーのアイシング体験、光を取り入れて素敵な空間を作り出すサンキャッチャー、コーチングのコースの方が特別に開催して下さるリアル対面でのランチ会や、ママ同士もリアル対面だからこそできるシェア会を開催して下さったり、先日開催して下さったコーチングの方とコラボでカードリーディングの方が開催して下さった、自分の中での願望や悩みの解決、決断が一気に加速するという驚きのイベントなどもありました。お子様と親御さんに向けてのイベントがたくさんあって、学びとしての食育講座や脳トレ講座、タッチケアの講師の方が触れ合う時間を大切に、笑顔になれるようなレッスンをしてくださったり、おむつなし育児といった、私自身も初めて聞くような講座を開いてくださったり、絵本の読み聞かせでは、大人から子供まで夢中になれるような時間を作ってくださる皆様が、おうちCafe3Cで常にわくわくするようなイベントの開催をしてくださっています。

伝えたいことがありすぎて、伝えきれないことが悔しいくらいなのですが、どのイベントも誰でも気軽にご参加いただけますし、過ごした一日が笑顔であふれ、素敵な空間にすることを約束させていただきますので、一度足を運んでいただけたらと思います。

今後もたくさんの人との出会いを大切に、皆様が素敵な時間を過ごしていただけるような、素敵なチャレンジをし続けていただけるような、そんなカフェにしていけたらいいなと思っています。

美園での暮らしや子育てについてですね。ほどよい自然に囲まれた場所だなと私自身がすごく思っていて、他の2人もおっしゃっていたように都心へのアクセスもしやすいです。

以前お客様が「この地域は歩道がしっかりと自転車と歩行者で分かれている」と話をされていました。「分かれていない地域もあるのか」とびっくりするくらい私にとっては当たり前のことだったのですが、他の場所から訪れてくださったからこそ気づく魅力もたくさんあるということを知って、その魅力を伺うたびに私自身が好きが増えるような街だなと感じました。子育てしているとちょっとした心配りが嬉しく感じ、助かることが多いなと思います。

美園地区でお店をさせていただいて思うことは、たくさんのエネルギーにあふれていることが多く、それでいて手を差し伸べてくださる方が多いということです。楽しいことを一緒にしたり、場所を共有して下さったり、子育てママがとて多くなつたなと思います。ママでも活躍されている方がたくさんいて、私自身もママとして子育てする中で、温かい方が多いことがすごく心強いと思います。

そして、皆様がおうち Cafe3C という場所でたくさんの方にチャレンジして下さる姿を見て、私たち自身も学ばせていただくことが多いです。

子育ては一人だと難しかったり、立ち止まってしまったりすることも多いと思います。オンライン化が進む時代だからこそ、人と触れあう時間やつながりの場を大切にしていけるような場所に、美園地区がなってくれたらなという思いでカフェを営業させていただいております。

そして、そんな思いを持ったママたちがあふれているからこそ、私自身も子育てをされていて孤独を感じずに日々過ごしていけているのではないかと考えています。目に見えない大切にしたいものやことを、これから美園地区の大人の皆様と一緒に、子供達にも伝え続けていけたらいいなと思っています。この私の思いをたくさん叶えてもらっているのが美園地区です。

すごく長くなってしまいましたが、最後まで聞いてくださりありがとうございました。今日足を運んでくださった皆様と美園地区のどこかで、おうち Cafe3C でお会いできることを楽しみにしております。ありがとうございました。

【司会】

嘉数さん、ありがとうございました。

嘉数さんのカフェは地域の皆様と関わることのできる、居心地の良い素敵な空間でしたね。お子さまと一緒に参加できるイベントがとても楽しそうで私も参加してみたいなと思いました。皆様もカフェに一度足を運んでみてはいかがでしょうか？

第1部では、浦和美園のまちづくりに取り組んでいる方や、実際に浦和美園に住んでいらっ

しゃる方のお話を伺うことができ、浦和美園地域での生活がイメージしやすい内容だったと思います。ご参加いただいた皆様も浦和美園に住んでみたいかも？と感じていただけたのではないのでしょうか？

改めて、岡本さん、丸さん、小林さん、嘉数さん、ありがとうございました。

次に埼玉高速鉄道の取組紹介です。埼玉高速鉄道株式会社の江原さん、よろしくお願いいたします。

【埼玉高速鉄道株式会社 江原さん】

改めまして埼玉高速鉄道株式会社の江原と申します。

お忙しいところご参加いただきましてありがとうございます。

埼玉高速鉄道の取組ということで、まず初めに、埼玉高速鉄道知っていることってあるのかな、ご存知だったかな、ご利用していただいたことあるかな、どういう印象をお持ちなのかな、など、我々として日々業務の中で気になっていることがあります。特に沿線の小学生に当社線使ったことある？と聞いてみると、意外と使ったことがないという答えをいただいている、もう少し離れた浦和や JR 線沿線のお子さんたちにも聞くと、やはり利用したという子はもっと低いという結果でした。

我々は 20 年経ったものの、まだまだ知っていただくという取組をもっと増やしていかないといけないのかなと、いつも感じているところでございます。

当社の関係ですけれども、1991 年、30 年前に会社としては設立いたしました。設立した後、鉄道事業は免許事業になりますので、国への事業認可等、また用地買収等、建設を行って、2001 年 3 月に開業をいたしました。私もその時に既に働いておりまして、当時の駅員さんということで、浦和美園駅ではないのですが、新井宿駅で勤務しておりまして、開業の日は 1 番電車を迎えるためのシャッターを開けるという業務に就いておりまして、シャッターを遠隔で開けたところ、シャッターの前にお客様が既に並んでいるという光景は、今でも覚えております。この会社に入って、1 番 2 番くらいの思い出になっております。

当社線は、浦和美園から赤羽岩淵という、埼玉県内を中心とした 8 駅、赤羽岩淵駅は東京メトロさんに管理をお願いしているのです、県内の 7 駅を管理している会社でございます。

当社線は、東京メトロ南北線、東急目黒線、東急新横浜線、相模鉄道新横浜線と相互直通運転を開始いたしまして、新横浜の新しいエリアまでお客様が利用できる状況になっています。

路線図ですが、永田町まで 46 分と書いてありますけれども、東京都内の主要駅までは 1 時

間程度でいけるところでございます。新横浜までも快速を利用すれば82分ということで、東海道新幹線に繋がったと言ってもいいくらい、開業して相互直通してからの利用者も定期的にいるという結果も出ていますので、繋がったことでの人の移動というの、少しずつ変化してきたのかなというところではございます。

皆さんからのお話の中で、子育て世帯の方々、お子さんがいて、ベビーカーや大きい荷物があると、新幹線に乗り換えるのも大変なので、1回で始発で当社線から座って行って、新横浜で新幹線に乗り換えるというところ、大きく貢献しているのかなと。

新横浜までつながったということで、スポーツ観戦が好きな方、途中の後楽園の駅には東京ドームがあり、新横浜駅では日産スタジアムがあって、コンサートが好きな方も、横浜アリーナや東京ドームで楽しいので、この沿線を御利用いただくことで色々な趣味を持っている方にも楽しんでいただける路線になっています。当社線については以上です。

浦和美園地域ということで、皆さんからいろいろお話をいただいて、岡本さんからもお話をいただいたとおり、都心から25kmということで、都内へのアクセスはとていいところではございます。先ほどお話があったとおり、東北自動車道などを使って、車でお出かけするにも便利な場所です。

右側の写真は浦和美園駅周辺の現在の写真ですが、私が入社して20年前、区画整理が始まった時は全く何もなくて、本当にまっさら、砂漠みたいな、写真を撮ったら真っ茶色になるエリアでした。

2002年に日韓ワールドカップということで、ここに多くの方が来るのに何もお店もなく、どうするのだろうと思っていましたが、駅前のこのあたりに1つだけファミリーマートの仮設店舗ができました。今でもその記録が残っているか分からないのですが、コンビニエンスストアの1日の売上の最高額を記録したということで、すごい結果が出たということも伺っております。

この浦和美園地域というのは2027年に順天堂大学病院が開院すると予定されております。その駅へのアクセスということで、当社も含めて地域の皆様と協力しながら、2019年から自動運転バスの実証実験という新しい技術を使って、街の利便性を上げられないかというところの取組をさせていただいております。

また、最近ニュース等でもありますとおり、電動キックボード、渋谷など都内でよく御覧になり、少しトラブルにもなるというお話もあったかと思うのですが、2019年に日本で初めてシェアビジネスということで、美園駅で実証実験でなく、実用化を始めたということもございます。

その後、1年後にコロナになってしまい、事業者さんがその事業から撤退ということで1年で終わってしまったものの、その1年間の実績というものが、今の都内での電動キックボードのビジネスのベースとなっています。国土交通省や内閣府さんからもどういう形で利用者の安全

を図るのかというところを様々なヒアリングをされて、我々が初めてやった事業が都内で新たに活用されているもののスタートとなったことも、我々としては取り込みをさせていただいております。

そのほかにも、皆さんの発言の中でも、自然豊かな場所ですよというところで、収穫体験イベントを地元の農家さんとさせていただいておりますし、先ほど登壇された丸さんと一緒に取り組むこともございます。

その事業も地元の方も含めて、最近では都内、南北線沿線にお住まいの方も参加いただけるようになりまして、ご協力いただく農家さんの人柄というところもあるのでしょうかけれども、旅行会社がやっている収穫体験ツアーよりも、遊びが多くて楽しいという感想をいただいております。

農家さんは自分のお庭を開放していただいて、夏の暑い時期ですと井戸水で遊んでしまうとか、帰りはびしょびしょになってこの後どうするのだろうかというくらい、楽しんでいかれる光景を我々も目にしているところでございます。

見沼田んぼというところの観光化というところも取り組んでいます。

こちらは、先ほど岡本さんからもありましたとおり、若い世代が多いというのが美園の特徴なのかなと感じております。

当社の取組の中で、子育て世帯への支援というところで、駅構内に「mamaro」というベビーケアルームを設置しておりまして、ここで授乳やおむつの交換ができるようなものも設置しておりますし、右側にはベビーカーのレンタルサービスも今年から始めさせていただいております。

先ほどの人口構成表の中にもありましたとおり、小学生が多いですけれども、中学生、高校生とだんだん年齢が上がるにつれて、鉄道を使って学校に行かれる機会が増えてくるということで、家計の負担を軽減するという考えで、2018年に当社の通学定期券の割引率を上げさせていただいて、これまでは通常50%だったものを、60%割引という形にさせていただいて、家計の負担を下げるような努力も当社として取り組みさせていただいております。

子育て支援というところで、浦和美園駅の写真ですが、黄色いところは元々は切符売り場でした。昔は今でいうSuica、PASMOというものがなかったので、サッカーの時にお客様をどうやって利用していただきやすく、トラブルなく運ぶかといった点で、チケット売り場を用意していたのですが、Suica、PASMOが普及したということで、こういった設備も必要なくなり、保育園に貸し出しております。

ここで朝お子さんをお預かりし、ここに1日いる園児もいますが、ここから10kmくらい離れ

た岩槻区に本園がありまして、そこまでバスで運んでいって、そこで1日遊んで、夕方にこちらに戻ってくるようになっていきます。

親にとっては自分が通勤するところでお子さんを預けて、帰りにお子さんのお迎えができることで、保育園の送迎ステーションはお客様に喜ばれております。

右側のお子さんがいっぱい写っている写真は、当社は浦和美園駅の3階に事務所がございまして、その一部、当時社長室と役員室だったところを一般の方に開放し、駅直結型のカルチャースクールというものを始めさせていただいております。

こちらはバレエ教室の子たちですかね、今27講座ありますけれども、はじめのころは、キックボックスサイズの講座があったり、最近ではバイオリンもあったりとか、習字、そろばん…そろばんって最近の子もやるんだなとちょっと感心したのですが。

ということで、本当に若い方から親子連れ、夕方になると小学生が我々の事務所の中を駆け回る感じになっておりまして、駅直結型で安心して利用させていただいております、地域の方々にも教えたい人、習いたい人、というところで、たくさんの方々に喜ばれている事業です。

続きまして、浦和美園まつり、花火大会。小林さんも楽しみにされているとのこと、すごく嬉しいところなのですが、こちらは今年で9回目の開催になります。10年前に、今の社長が「冬に花火をあげるぞ」というところがきっかけで事業が始まっています。

浦和美園を知っている人はご存知かと思いますが、埼玉スタジアムが北側になるのですが、駅に向かって風がとても吹いています。その中でどうやって花火をあげるのだろうと思って悩んではいたのですが、皆さんの協力をいただきながら検討して、1年目はできなかったのですが、2年目、地域の方々と実行委員会を作り、財政的な面では、花火大会は行政の支援が行うものかと思いますが、民間だけのお金で開催しました。花火をあげる合図を私が務めさせていただいて、私の指示で花火があがるのが私の中では特権なのですが、1回目は正直なことを言うと花火があがったときに泣きましたね。私と当時県から来ていた役員の方も苦労されて、一緒に務めさせていただいていたのですが、「私、泣いてしまいました」と伝えたら、役員も「僕も泣いた」と言っていました。

そのくらい、鉄道会社の社員が花火をあげるというのは、そもそも経験をしないことで、その1回目に関わったことは本当にいい経験で、私の中でこの会社に入って1つ2つの思い出と言いましたが、その1つの思い出になっています。

今年は、会場に来ている方にはチラシを青い袋の中に入れてさせていただいているのですが、10月29日10時から17時、花火については17時から30分間になりますけれども、また今年も開催させていただきます。

ホームページにもいろいろあるのですが、今年何を目玉にしようかなというところで、彩の

国さいたま芸術劇場の近藤監督と当社でダンス動画を撮るという機会がありました。埼玉をダンスで盛り上げていこうという近藤監督のお話があり、浦和美園まつりでもみんなでダンスを踊っちゃおうということで、当日 11 時と 14 時の 2 回、ダンスを踊って、その後お菓子をプレゼントするという企画もありますので、お時間ある方はご参加いただければと思います。

続いて、T.T 彩たまですが、浦和といえばサッカー文化というイメージがあると思うのですが、浦和美園にも埼玉スタジアムということで、浦和レッズのホームスタジアムとなっておりますけれども、こちらのプロ卓球チームが浦和美園に練習会場を構えていただいています。我々はエリアパートナーということで締結させていただいております。

これも会場に来ていただいている方のみになるのですが、明日明後日に駒場体育館で公式戦がございまして、その招待券を配布させていただいております。そちらの招待券は明日明後日だけでなく、年間使えるようになっておりまして、11 月の 17 日、18 日にも、越谷で試合があり、そちらでも使えますので、ぜひ浦和美園を見学しつつ、T.T 彩たまを応援いただければと思います。

最後になりますが、浦和美園に移住してきた後、地元や沿線で楽しんでいただくのもありますけれども、都内の方にお出かけする機会もあると思います。南北線の発展についても、当社線と直通している路線でありますので、紹介させていただきます。

報道等でもご覧になっている方がいらっしゃると思うのですが、2030 年の半ば頃に、南北線の白金高輪駅から品川駅まで延伸をするということが実現するのではないかという話がございます。今は品川周辺、田町も含めて大規模な開発が進んでいると思いますので、そういった場所へのお出かけがしやすくなります。白金高輪駅と言えば、東海道新幹線もそうですが、リニア中央新幹線にもこの後利用ができます。京急線を使えば、羽田空港までいけるということで、当社線も利便性が更に上がってくるということでございます。

また、最後の部分にございますように、南北線で最も地味な駅と書かせていただいているのですが、六本木一丁目駅に麻布十番ヒルズというのが来月オープンします。南北線というのも比較的新しい路線で目玉があまりなかったところに、華やかな施設ができるということで、南北線も変わってくると思いますので、それと相互直通している当社線も利便性が上がってくるといったところで、浦和美園に住んでいただきながら、地元で、また都内にお出かけするのを楽しんでいただけたらと思います。

それ以外にも、途中、当社線沿線で自然豊かなところもございます。明日も新井宿駅が最寄りのイナパークで、「イナフェスタ」というものがありますので、お時間ある方はご参加いた

だければと思います。そこでは当社と連携した埼玉学園大学の学生さんが考えたコラボメニューの販売もございますので、そういったものも楽しみに来ていただければと思います。

簡単ではございますが、以上となります。
どうもありがとうございました。

【司会】

江原さん、ありがとうございました。

通勤・通学にも便利で、お得な乗車券もたくさん発売されている埼玉高速鉄道。子育て世代だけでなく、どの世代の方にも利用しやすい鉄道だと感じていただけたのではないのでしょうか。私もお得な乗車券を買って沿線にお出かけしてみたいと思います。

それでは、次に、埼玉県の移住専門相談窓口である「住むなら埼玉」移住サポートセンターの鎌田さんから少しかご案内がありますので、2,3分ほどお時間をいただければと思います。

【「住むなら埼玉」移住サポートセンター 鎌田相談員】

皆さんこんばんは。改めまして、私はNPO法人ふるさと回帰支援センター内「住むなら埼玉」移住サポートセンターの鎌田と申します。皆さんとは今回のセミナーを通して、申込受付等で対応させていただきました。時間も押していますので、画面共有はなしで口頭だけでお話させていただきます。

ふるさと回帰支援センターは、2002年に地方移住やIJUターン等の地域との交流を希望される方を支援するために設立しました。ふるさと回帰支援センターの方には、埼玉県以外にも、全国44都道府県の移住相談窓口があります。センターの方では、対面やZoomを使ってのオンライン相談、またメール、電話での相談を承っています。併せて、埼玉県各地の移住・観光に関するパンフレット等も多数揃っておりますので、有楽町にお越しの際は、お気軽にお立ち寄りいただければと思います。

会場の方にはチラシやポスターでもご確認いただいているのですが、埼玉県では今回のような移住に関するセミナーを今後も多数開催を予定しております。近々ですと、来週末の10月29日に、移住先として埼玉県内でもすごく人気の飯能市での「農ある暮らし」をテーマにセミナーを行います。また、来月11月11日には、住み替え等をテーマに、東京スカイツリーのある東京ソラマチの方で、「おいで埼玉」という大きなイベントをやりますので、ぜひご興味等ありましたら、ご参加いただければと思います。

最後に皆様をお願いとなります。会場にお越しいただいた方には来場時にお願いしたアンケート、またオンラインで参加いただいている方には Zoom を退室後にアンケートフォームが立ち上がる形になっておりますので、今後の移住セミナーをよりよくしていくためにも、アンケート回答のご協力をよろしくお願いいたします。

お時間ありがとうございました。

【司会】

鎌田さん、ありがとうございました。

最後に、セミナー中にチャットでいただいた質問にお答えをしたいと思います。

いただいた質問ですが、「埼玉高速鉄道株式会社の、順天堂病院開院に関わる美園地区の取組の計画を教えてください」とのことですので、江原さんお願いいたします。

【埼玉高速鉄道株式会社 江原さん】

順天堂大学病院に関する当社の取組ということですが、基本的には埼玉県とさいたま市が中心となって、誘致活動をいただいております。その中で、駅からのアクセスというところで、我々として何ができるのかというところで、先ほどご紹介させていただいたとおり、自動運転バスの実証実験などを行って、お客様の利便性を上げられるような取り組みを考えているところでございます。

【司会】

ありがとうございました。

それではこれにて本日のセミナーを閉会とさせていただきます。会場参加の方にはお手元に紙のアンケート、Zoom でご参加いただいた方には、セミナー終了後に本日のアンケートが表示されますので、御協力いただきますようお願いいたします。

また、本日のセミナーは県のホームページにおいて後日アーカイブ配信を予定しております。お友達などで興味のある方にぜひ視聴をおすすめいただければと思います。

本日は誠にありがとうございました。

それでは、失礼させていただきます。